

# ぶらネットこまき

<http://www.komakichiku.com/> (古牧地区住民自治協議会広報紙)



第97号

古牧だより通算191号

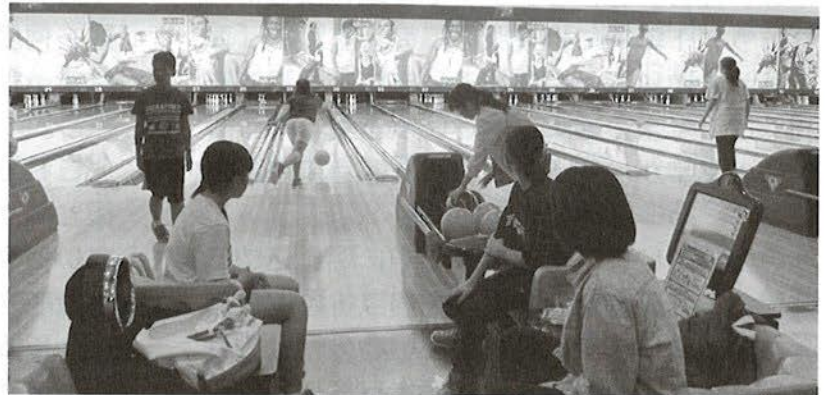
## 楽しいひととき たくさんの笑顔 古牧地区中学生ボーリング大会

7月9日(日)、第41回古牧地区中学生ボーリング大会をROUND 1で開きました。

1人2ゲームと短時間でしたが、子どもたちはたくさんの笑顔で、楽しいひとときになりました。

ゲーム中にインタビューをすると、3年生は「盛り上がってとてもいい行事」「ボーリングの途中暗い中、投球するイベントが楽しかった」「地区のお母さん、お父さん方ありがとうございました」との声もありました。

優勝した山浦悠哉君、玉腰星愛さんは、



「中3の時にみんなと楽しめて良かったです」「練習の成果が発揮できて良かったです」「びっくりしました」との感想がありました。

表彰者は次のとおりです。

男子

優勝	山浦 悠哉	3年(平林)
2位	大澤 龍仁	3年(川端)
3位	川嶋 利弥	2年(五分一)

女子

優勝	玉腰 星愛	2年(西尾張部)
2位	坂口 恵菜	2年(南高田)
3位	関取あずみ	2年(西尾張部)

## 子育て支援部です!

こんにちは!

私たちは各地区で子育ての支援をしています。

♪なーべなーべ そーこぬけ♪ 「わらべうた」が親子の絆を深めます!

子育て支援部は7月5日(水)、長野市子ども未来部保育指導員の柿蔭千恵子さん、主査の吉池聡美さんによる「子育てのいろは」出前講座を開きました。

支援者としての傾聴、「わらべうた」、「身近なもので手作りおもちゃ」などを紹介して



いただきました。今も昔も子育てに大切な事は「いっぱい愛情」をもって接することに変わりはないと思います。

これからも子育て中のお母さんたちの居心地の良い楽しい場、子どもさんたちの楽しいあそびの場となるよう、研修会などに取り組んでいきたいと思っています。(子育て支援部)



# 社会を明るくする運動 ノーマライゼーションの大切さを実感

「第67回古牧地区 社会を明るくする運動」が古牧公民館の集会室で7月22日（土）、満席になる110名程の参加で開かれました。

県作文コンテスト入選作品を2名の女子生徒さんの発表で、「明るい社会にするために」「相手の気持ちを考える」を聞いてから講演会。社会福祉法人「森と木」統括センター長の岸田隆先生による、「誰も排除されない社会」というテーマで拝聴しました。ちょうど1年前に相模原の障害者施設の「津久井やまゆり園」事件がありました。講演を聞くと、今までの障がいという言葉と同じ障がいの文字が、まるで異なった響きに感じました。

今、障がい者を排除し家の中に閉じ込める時代から、障がい者の支援・自立・雇用促進へと動いています。発達障がい者の行動の例文が、障がいとっていない人たちにもぴったり一致する症例がいくつもある事には「目からウロコ」でした。

こんな事例はありませんか？①何事も白黒はっきりしないと気持ち悪い②外では人に合わせるが、そのことで家に帰るとものすごく疲れる③急な予定変更ほど嫌なことはない④子どもの頃から偏食があり、今でも好き嫌いが激しい⑤友だちをつくることは昔から苦手⑥コレクション大好き、同じモノをいくつも

揃えたいくなる。

また、こんな人はいませんか？①時間が守れない②好きなことを始めると、何も耳に入らなくなる③人の話を最後まで聞かない④同じ失敗を何度も繰り返してしまう⑤ギャンブルにはまったことがある⑥つい衝動買いをしてしまう。

これらも発達障がいの一部とのこと。⑦健康と障がいはつながっていて、ある境界で障がいとなる事例⑧障がいとは身体的、精神的な機能や生活能力、そして社会的な事柄がトータルにみて低下している状態である事⑨障がいとは社会との関係で生じ、その人のもつ特性や特徴がその人と社会との関係の中で、双方どちらかに不都合などマイナスの作用が働いている状態…。

全ての国民が障がいの有無によって分け隔てされる事なく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を目指していく事が、わが国の障害者基本法の方針で、みながこれに向かって開かれた障がいとの理解をお願いしたいと思います。（総務部）



## 親睦ゴルフ大会 開かれる

古牧地区住民自治協議会福祉部会は6月27日（火）古牧ゴルフクラブとの協賛で13回目となる古牧地区親睦ゴルフ大会を開きました。会場は長野国際カントリークラブです。108名が参加し、年齢を感じさせない元気なプレーで盛況な大会となりました。

初めてパーティーを組んだみなさんでしたが、プレーを進めていくうちにいろいろな話に花が咲き、文字どおり「親睦」のゴルフ大会となりました。主催者として有難い感謝の一日となりました。

全員元気にプレーを楽しみ、プレー終了後はお風呂で汗を流して大広間で飲み物、軽食をいただきながらの表彰式。あちらこちらのテーブルから歓声が沸くひと時となりました。また「来年お会いしましょう」を合言葉に解散しました。（福祉部会）



### 団体戦

グロスの部	新ベリアの部
優勝：平林	優勝：南長池
準優勝：南高田	準優勝：五分一
3位：東和田	3位：北条

### 個人戦（敬称略）

優勝：轟 浩昌（南長池）
準優勝：平田 哲夫（五分一）
3位：長田 久司（南長池）



## 各區で『健康塾』始まる 「ほんわか健康応援隊」各區で大活躍

平成27年4月の介護保険制度改正を受けて古牧地区では、いち早く健康塾を開講し、地域のみなさんが高齢になられても健康で幸せに暮らせますようにと活動してきました。昨年度は市のモデル地区事業として取り組んだ健康塾。本年度から介護予防・日常生活支援総合事業として取り組んでいます。



福祉部会では、内容をより一層充実させ継続・実施し、地域のより多くのみなさんが健康塾に参加されて健康で豊かな生活を送れますよう、すべての地区で健康塾の開講を目標にいくつかの課題に取り組んでいます。

その一つが健康体操を指導できる人材の育成です。20名を超えるみなさんが応募され、健康塾の推進リーダーとしての活動が始まりました。

推進リーダーは各区の公民館に出向き、依頼された時間を使い介護予防を目的としたストレッチ体操や筋トレ、脳トレなど健康体操

をしています。一部の区では本格的な健康体操をする教室も始まりました。お隣り同士の区合同の健康塾も始まりました。

指導者研修を受講した推進リーダーのみなさんを「ほんわか健康応援隊」と命名、ピンクのユニフォームを着ています。高齢者のみなさんの健康を支えたいと、応援隊のみなさんはとても輝いています。

みなさんの理解と協力をいただきながら一所懸命取り組んでいます。あなたも、ほんわか健康応援隊の一員になりませんか。

(福祉健康部)

## 自主防災連絡会 研修会 ～ゲーム方式で災害時の対応を学ぶ～

古牧地区の自主防災連絡会では、7月22日(土)に古牧公民館で「防災研修会」を開きました。自主防災連絡会の役員、各区の区長をはじめ、防災指導員のみなさん45名程が参加しました。



研修会の講師は、長野県危機管理部危機管理防災課の田村浩二氏。地震災害について長野県で甚大な被害が想定される活断層の位置

や最大震度などの分布状況などのお話がありました。その後、グループでゲーム方式による災害時の対応を考える災害クロスロード(「重大な分かれ道」「人生の岐路」等の意味)に挑みました。

クロスロードでは、参加者が災害時に想定される問題の対応を自らの問題としてとらえグループ同士で意見交換し、グループとしての考え方をまとめていくものです。各グループが話し合いの結果を発表し講師から具体的なアドバイスいただきました。

この研修を受けて、参加されたみなさんはあらためて、防災に興味を持ち、防災に対する取り組み、防災による地域づくりの大切さについて学びました。(総務部)



## お知らせ

## 住民自治協議会事務局のファックス番号が変わります

変更時期 ▶ 平成29年9月1日（金）から

新しい番号 ▶ 026-219-1057

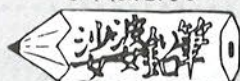
※電話番号は、従来通り（026-259-8359）です。

※古牧ボランティアセンター・福祉サービスのファックスとして利用できます。

## 8月から9月までの主な行事実施日のお知らせ （多くの皆様の参加をお待ちしています）

事業名	実施日	各区	実施内容	お問合せ先
防火・防犯・交通安全ポスター事業募集	8月	各区	ポスター募集にご協力ください	防犯部
夏季防犯 夜間パトロール	8月～	各区	夜間防犯パトロール	防犯部
公民館対抗球技大会	8月20日	3会場	軟式野球・バレーボール・卓球 対抗試合及び交流	公民館部
生き生きこまき みんなてトーク	8月23日	古牧公民館	市長及び市幹部職員と地域住民の 意見交換会	総務部
少年少女 スポーツ交流会	9月10日	古牧小	野球大会他	青少年育成部
交通安全住民集会	9月 6・13・27日	地区内交差点	住民参加による街頭啓発活動	交通安全部
秋の交通安全運動	9月21日 ～30日	各区		交通安全部
男性の料理教室	9月26日	古牧公民館	楽しく美味しい料理を作ります。初 めての方もお気軽にご参加ください	ボランティアセンター 244-8159
全戦没者追悼法要	9月27日	西光寺		総務部

しゃべんびつ



## 「アラートで緊急情報が流れたら、 慌てずに行動を」

6月23日の朝、信毎に載った黄色の大きな広報を見て驚いた。

何かと思ったら、ミサイルが日本に落下する時はサイレンが鳴るので避難せよ。屋外にいる時は、出来る限り頑丈な建物や地下に避難する。

建物がない場合や屋内にいる場合などもそれぞれ記載されていた。

何か速い中東の話か、SF映画のような気がしたが、これが現実だと考えさせられた。

調べてみたら秋田県男鹿市で今年の3月に避難訓練を実施していた。また山形県、新潟県、長崎県でも北朝鮮のミサイル落下に備えて避難訓練を

予定しているとの事である。

次元が全く違うが、何年か前に北八幡川が古牧公民館の上流で溢れて避難勧告のメールが流れ、土嚢を運んだ記憶がある。水害なら多少は備える事も出来るだろうが、ミサイルとなると庶民は全くお手あげであり、早急に避難するしかない。

7月4日にはICBM（大陸間弾道ミサイル）の発射に成功したとの報道があった。

不安をあおる訳ではないが、国は国民をしっかり守り、市民は自分の出来る事をしっかりやる事に尽きると思う。

（山田 修一）



### 古牧地区の世帯数と人口

29年7月1日現在

11,272 世帯

26,667 人

（男 13,148人 女 13,519人）

- 発行所 古牧地区住民自治協議会  
（電話・FAX 259-8359）  
（E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp）
- 発行者 宮島 俊文
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 (有)小池印刷